

2026年度における 日本の宇宙ビジネスの海外展開促進支援の活動計画

2026年8月時点版

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）
新事業促進部・宇宙戦略基金事業部

- 本資料には以下からアクセス可能です。

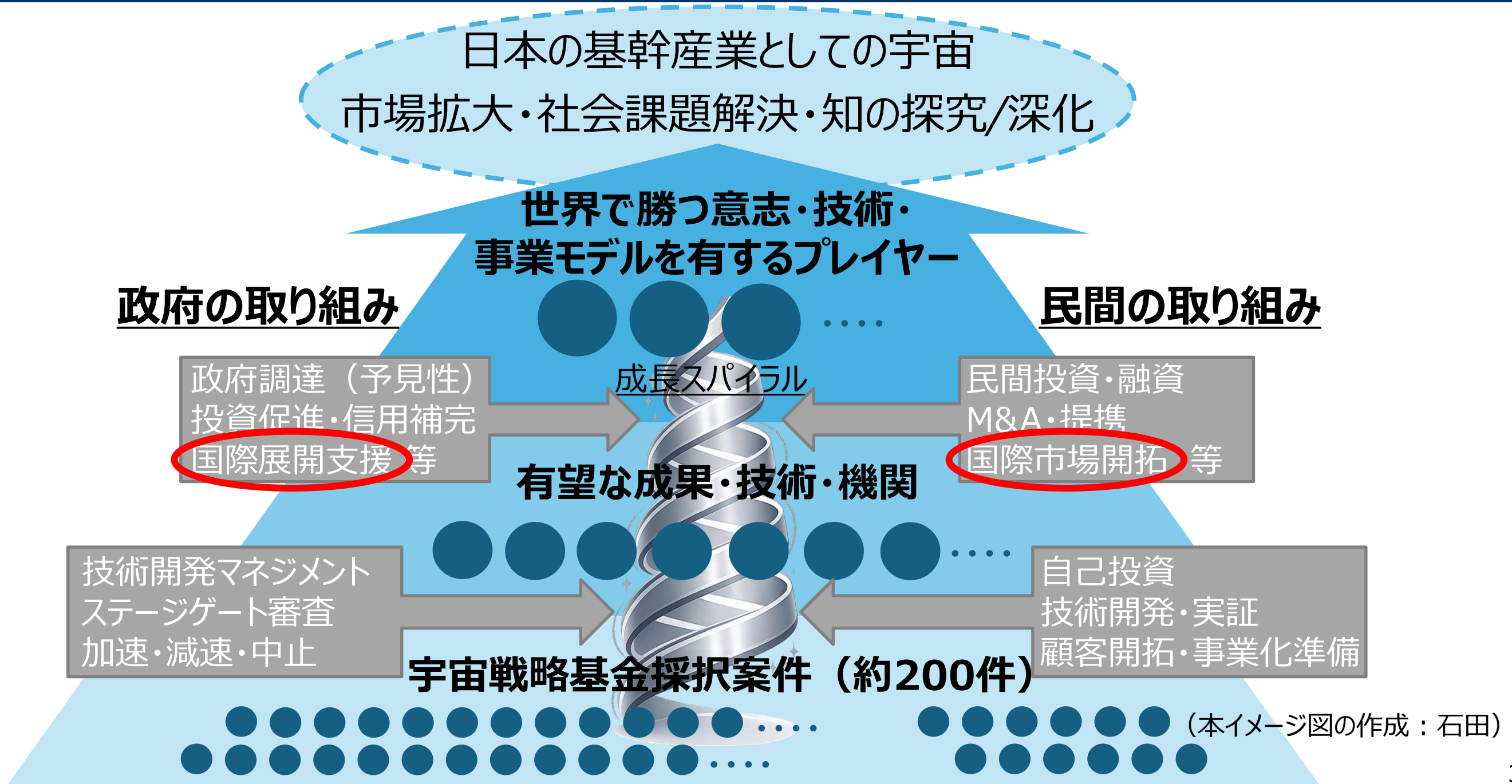


又は

Googleから「JAXA 海外展開」で検索

→ 「宇宙産業のグローバル展開」
のページをクリック

→ 「【ハイブリッド開催】宇宙ビジネス海外展開
支援 合同説明会」のページをクリック



(1) 2025年度の活動・アンケート結果

(2) 2026年度 活動状況及び計画

(3) Co-funded事業推進枠組み

2025年度 JAXAによる日本の宇宙ビジネスの海外展開支援の取組



- 2025年度は、内閣府・経産省・外務省（大使館）JETRO・JICA等と連携し、以下を含む様々な取組を実施。

海外イベントでの出展支援

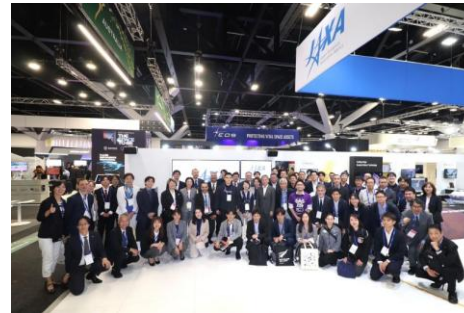
- Space Symposium (2025.4)



- Small Satellite Conference (2025.8)



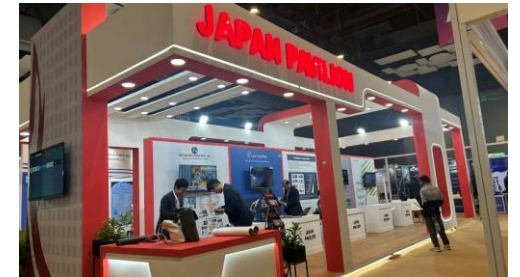
- IAC (2025.9)



- Space Tech Expo Europe (2025.11)



- GeoSmart India (2025.12)



BtoBマッチングイベント

- Japan-UK B2B (2025.10)

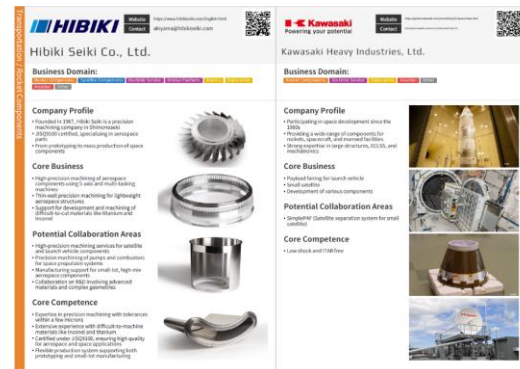


- APRSAF-31 (2025.11)



日本企業の英語カタログの情報発信

- 企業カタログ



- 衛星部品・コンポーネントカタログ

Japanese Satellite Component Catalog		Supplier							
		ADRONIC Corp.	Alsatex Technology	ArkEdge Space Inc.	AsatsuTech Corp.	Asatsu	Composite Satellites Co., Ltd.	cosmosboom Inc.	EAGLE INDUSTRY CO., LTD.
Products	Component								
Subsystem <Bus>	Power								
	Power Generation								
	Solar Panels & Arrays								
Energy Storage	Power Management and Distribution								
	Power Conditioning and Distribution Unit (PCDU)								
	Power Distribution Unit (PDU)								
Command and Data Handling (C&DH)	Onboard Computer (OBC)								
	OBC Module								
	Processing & Memory Unit								
Communications	Interface & Power Board								
	Interface & Power Board								
	Power Board								
Attitude and Orbit Control	Integrated Units								
	Sun Sensors								
	Magnetometers								
Actuators	Reaction Wheels								
	Magnetorquers								
	Control Moment Gyroscopes (CMG)								
Drive/Control Electronics	Drive/Control Electronics								
	Drive/Control Electronics								
	Drive/Control Electronics								

その他

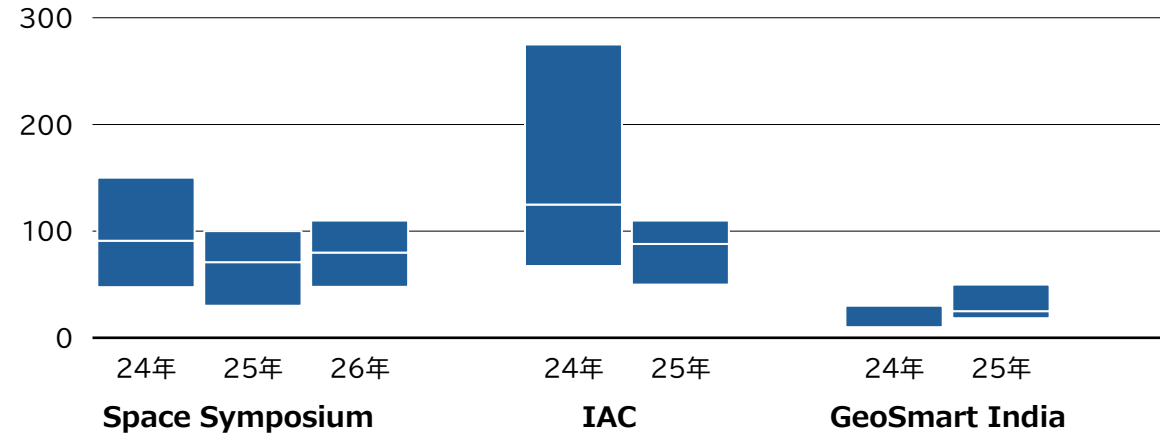
- 宇宙戦略基金事業
- 海外宇宙機関との Co-fundの仕組みづくり
- 海外展開支援に関する アンケートの実施・分析 など

各イベント実施後の企業アンケートの横串分析

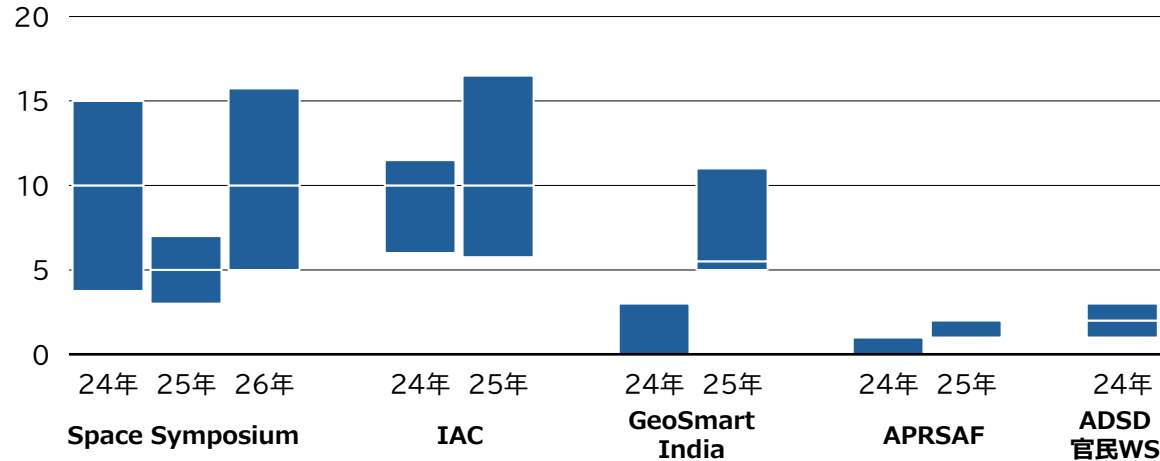


- 来場者数が多く、会期が長い展示会は、名刺交換数や商談に繋がりそうな新たなコンタクト数が比較的多い結果となっている。
- 国際会議（APRSAF、ADSD等）における商談機会については、名刺数、新たなコンタクト数いずれも、展示会より少ない傾向。
- IAC は名刺数、商談ポテンシャルが最も高く、Space Symposium は名刺交換数は中位、GeoSmart India は両指標とも低位という結果となった。

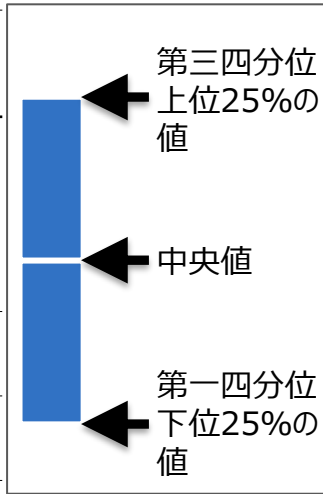
各社の名刺交換数



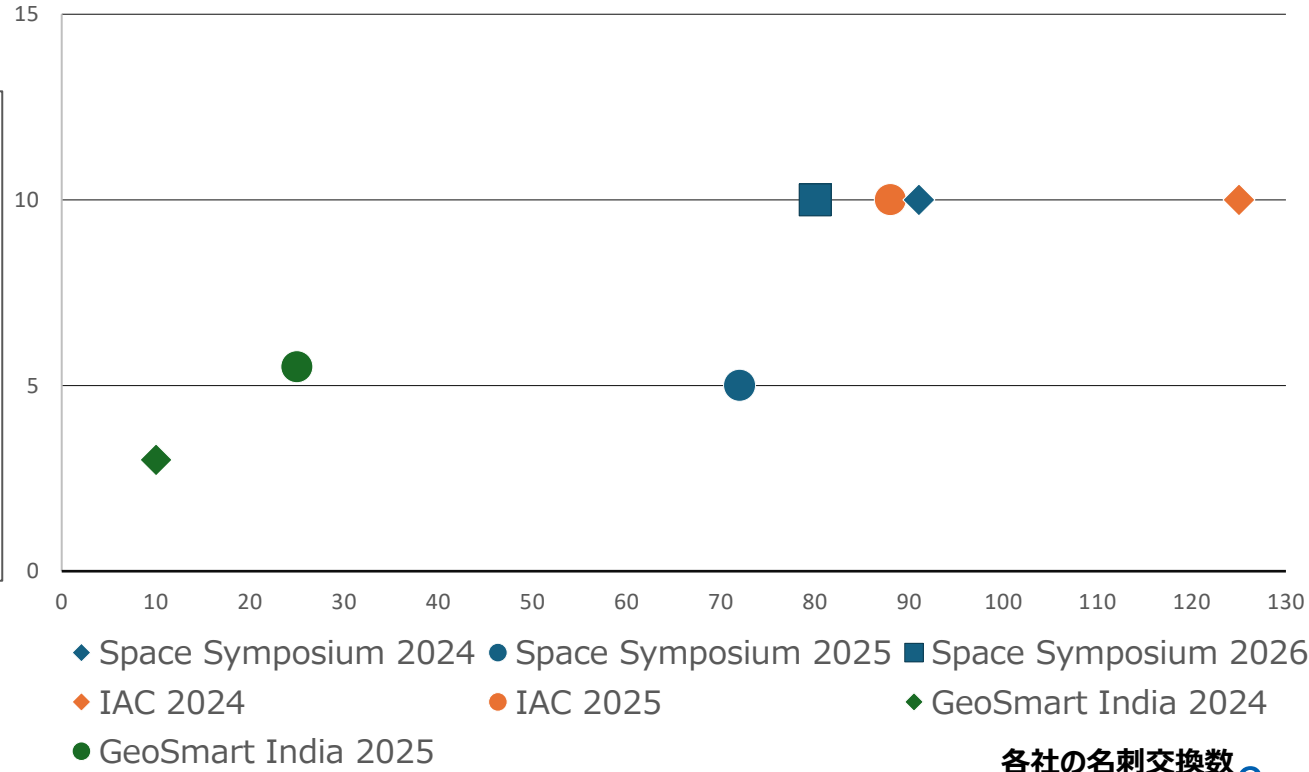
各社の商談に繋がりそうな新たなコンタクト先数



各社の商談に繋がりそうな新たなコンタクト先数（中央値）



イベント別 商談見込みポテンシャル



各社の名刺交換数（中央値）

2025年度 日本の宇宙ビジネスの海外展開支援に係る企業等へのアンケート 概要



➤ 政府関係機関で連携し、企業等へのアンケートを実施し、110の回答を得た。

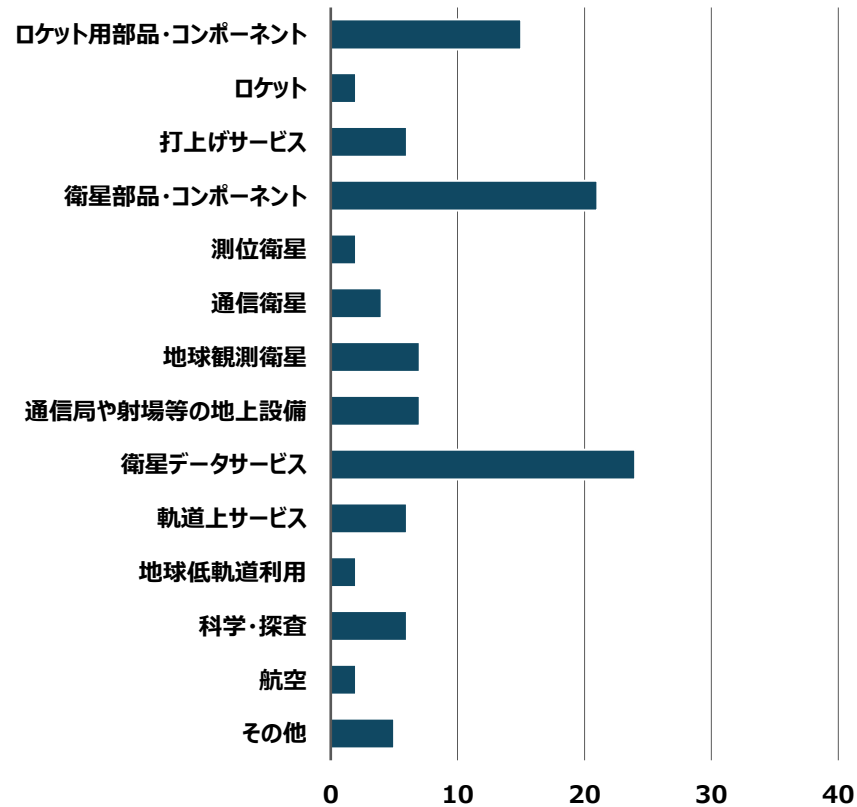
名称	日本の宇宙ビジネスの海外展開支援に係る企業様へのアンケート（2025年度）
実施主体 （連名）	➤ 内閣府宇宙開発戦略推進事務局 ➤ 経済産業省製造産業局宇宙産業課 ➤ 宇宙航空研究開発機構（JAXA）新事業促進部、 宇宙戦略基金事業部、調査国際部及び第一宇宙技術部門地球観測プログラム戦略室 ➤ 独立行政法人国際協力機構（JICA）ガバナンス・平和構築部STI・DX室 ➤ 独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）イノベーション部 ➤ 株式会社国際協力銀行（JBIC）インフラ・環境ファイナンス部門社会インフラ部
実施期間	2025年12月15日～2026年1月9日
目的	宇宙ビジネスを推進されている日本企業の海外展開に関する課題や、政府機関等への支援要望の把握。
アンケート結果等の 取り扱い	① 来年度の政府機関等における海外展開支援の計画・実施に活用させていただきます。 ② 政府機関等が国際会議や海外展示会支援等を実施する際に、当該地域・国へご関心ありとご回答いただいた事業者の皆様へ、直接ご案内させていただきます。

ご回答事業者の属性について

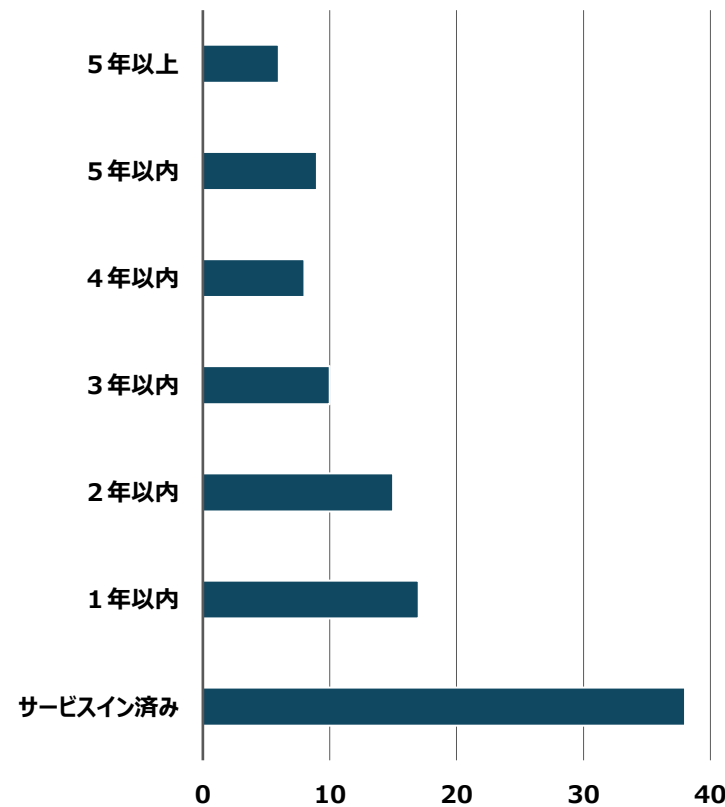


- **回答数は110。**各社の事業単位での回答可としており、回答した法人数としては86。
- **回答者の属性は、「事業の種類」、「売上げ規模」、「サービスイン時期」いずれも、幅広い属性となった。**

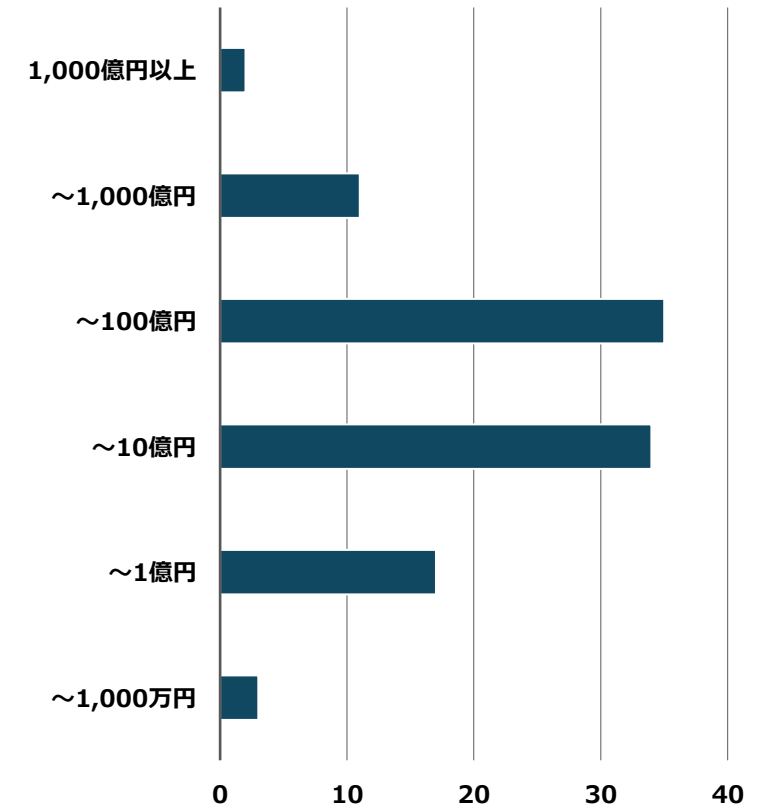
事業領域別の回答事業数



海外でのサービスイン予定時期



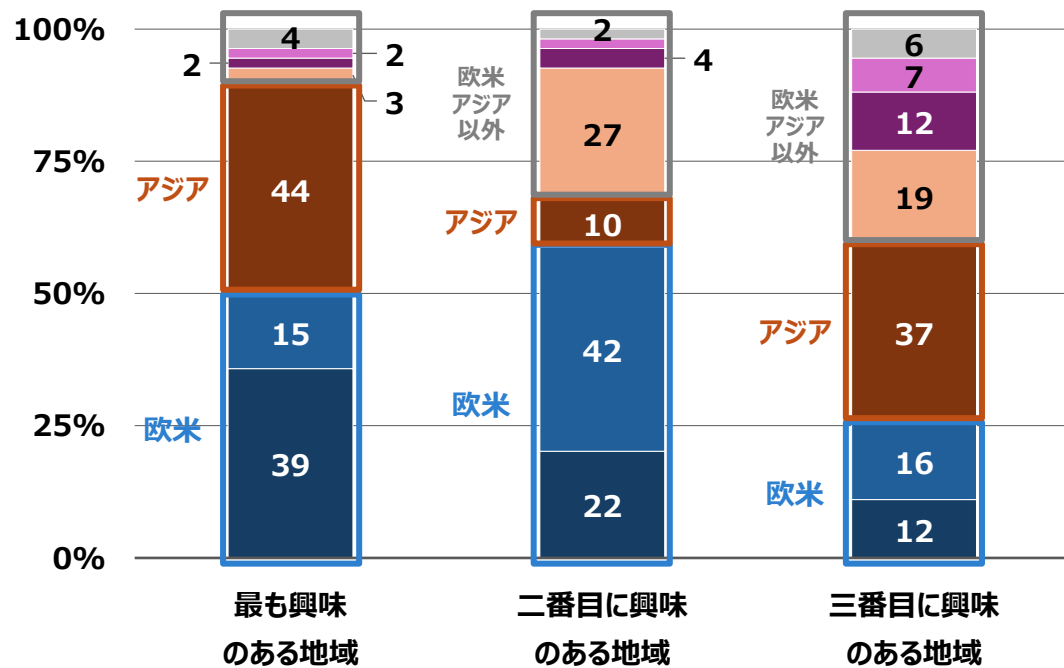
2030年時点で期待する海外売上規模



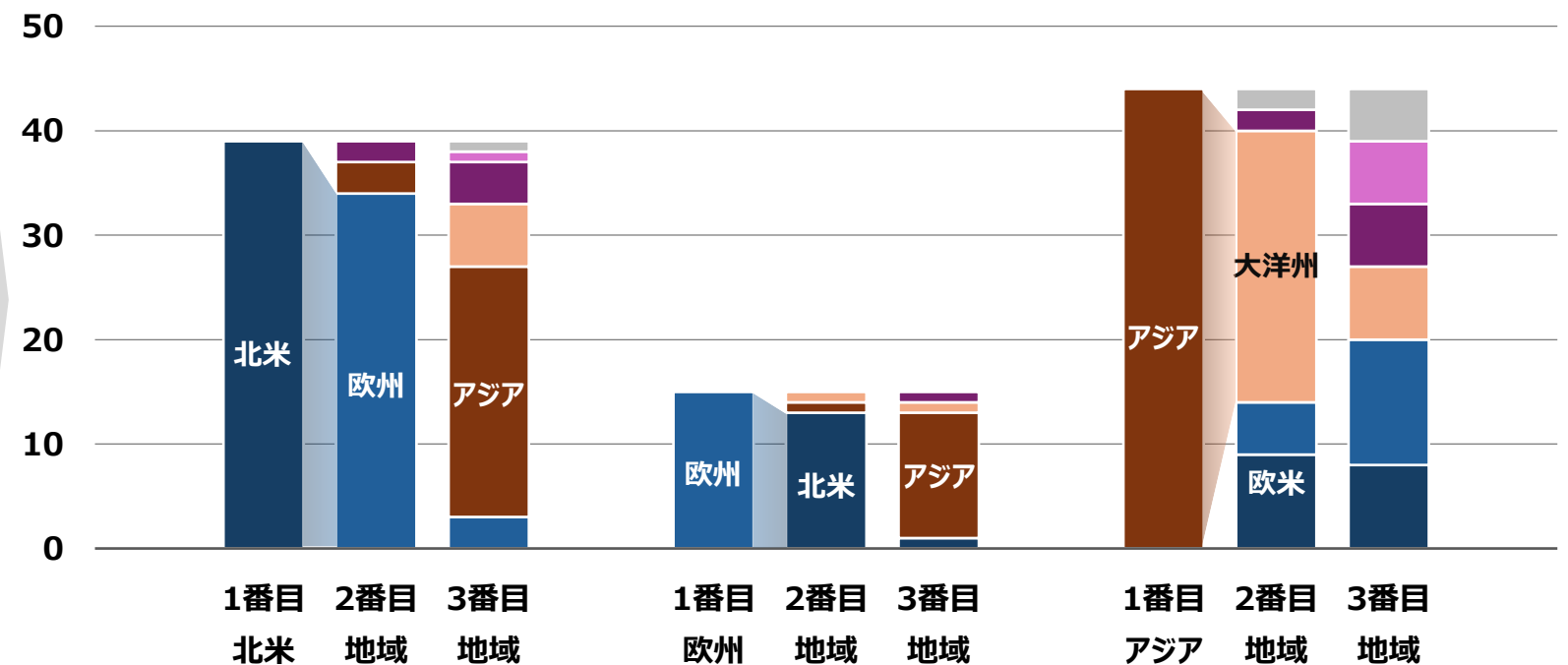
関心のある地域（1/2）

- 最も関心のある国・地域は、欧米とアジアで大きく2分。
- 一方、2番目に関心のある地域は、欧米・アジア以外が3割程度を占めた。
- この要因は、北米に最も関心のある事業者は2番目にほぼ欧州に関心があり、アジアに最も関心のある事業は大洋州・中東といった新興・途上国にも関心があるなど、大きく2つの方向性の事業者がいるためと考えられる。昨年と同傾向。

関心のある地域



最も興味のある地域に応じた2・3番目に興味のある地域

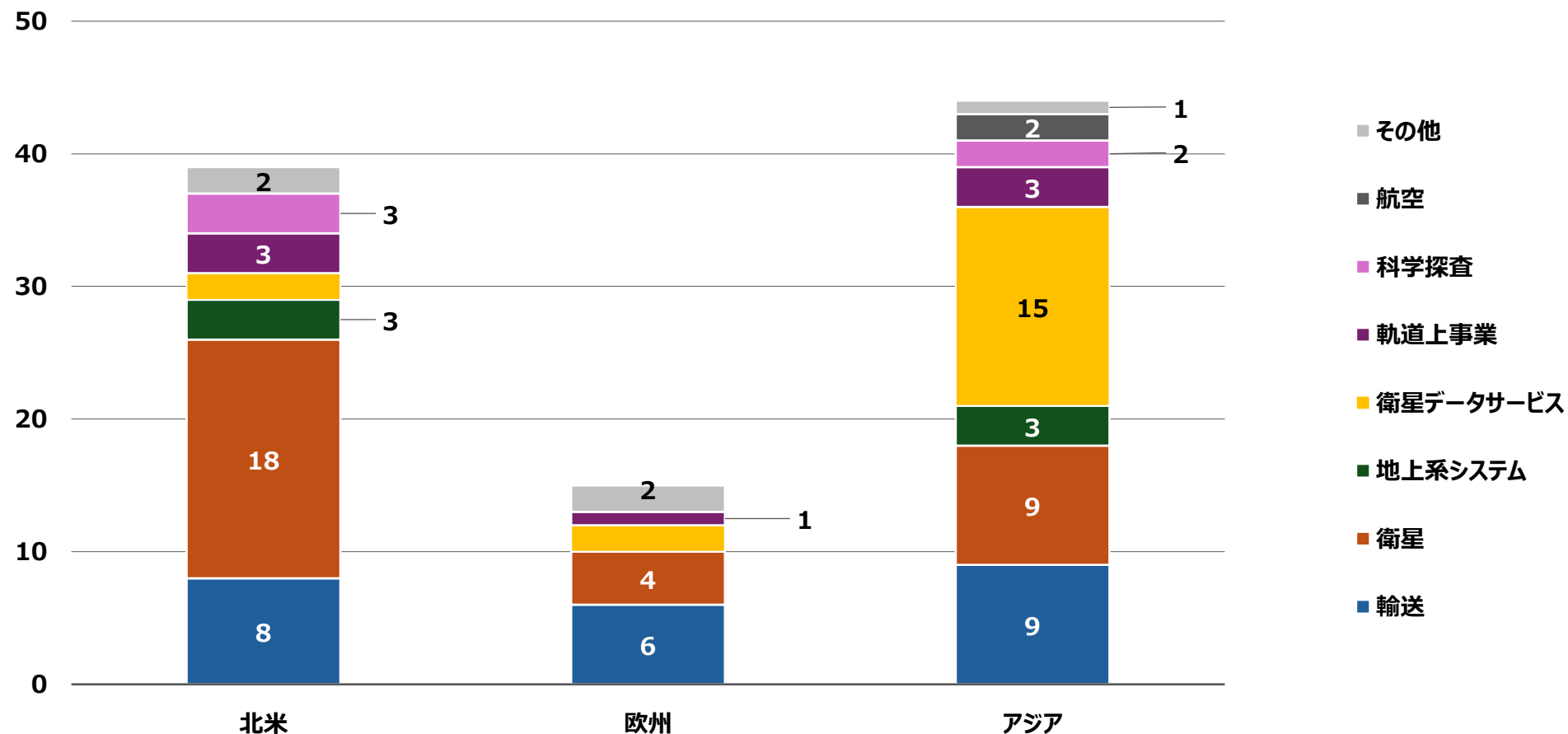


■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア ■ 大洋州 ■ 中東 ■ 中南米 ■ アフリカ

関心のある地域（2/2）

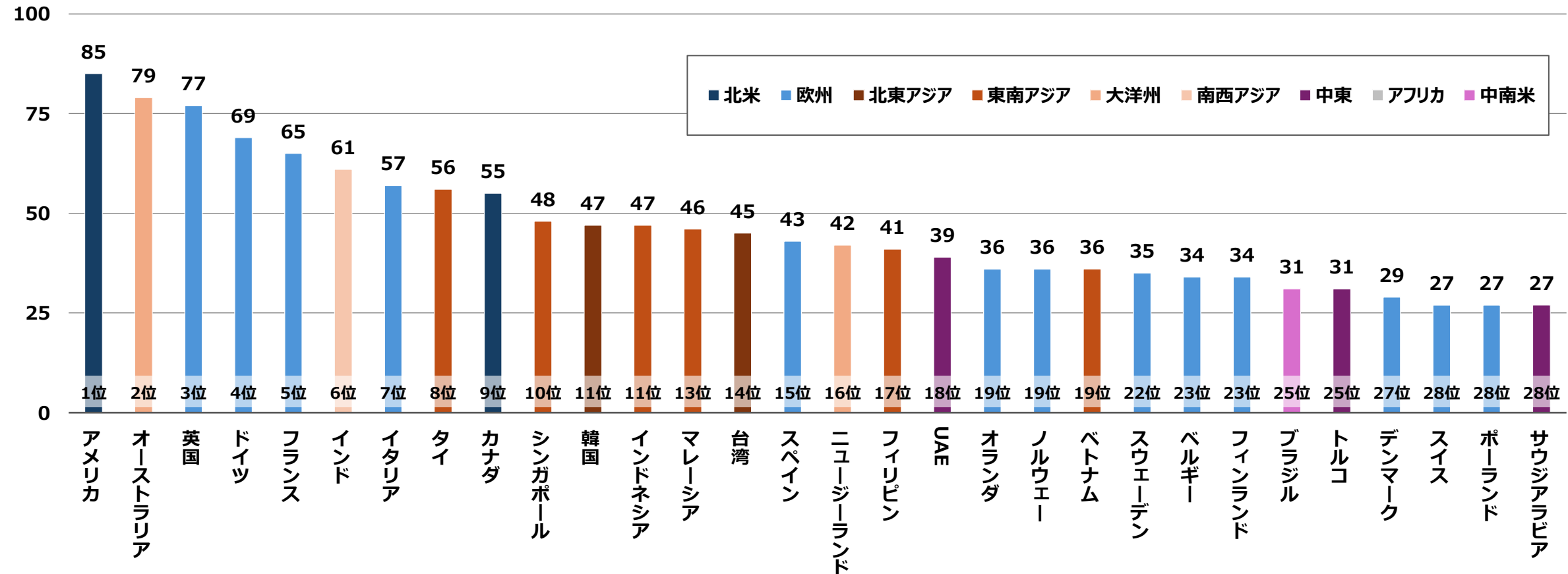
- 最も関心のある地域を事業者の事業領域別に集計したところ、北米は輸送・衛星・軌道上事業などハード領域で特に関心が高く、欧米市場が主要なターゲットとなっている。
- 一方、アジア地域と回答した事業者の関心領域は多岐に渡るが、その中では衛星データサービスが最も多い結果となった。
- 前項と併せると、**大まかには「ハード系は欧米」、「ソリューション系はアジア・新興国」が主要市場**と捉えることが可能。

事業領域別の最も関心のある地域



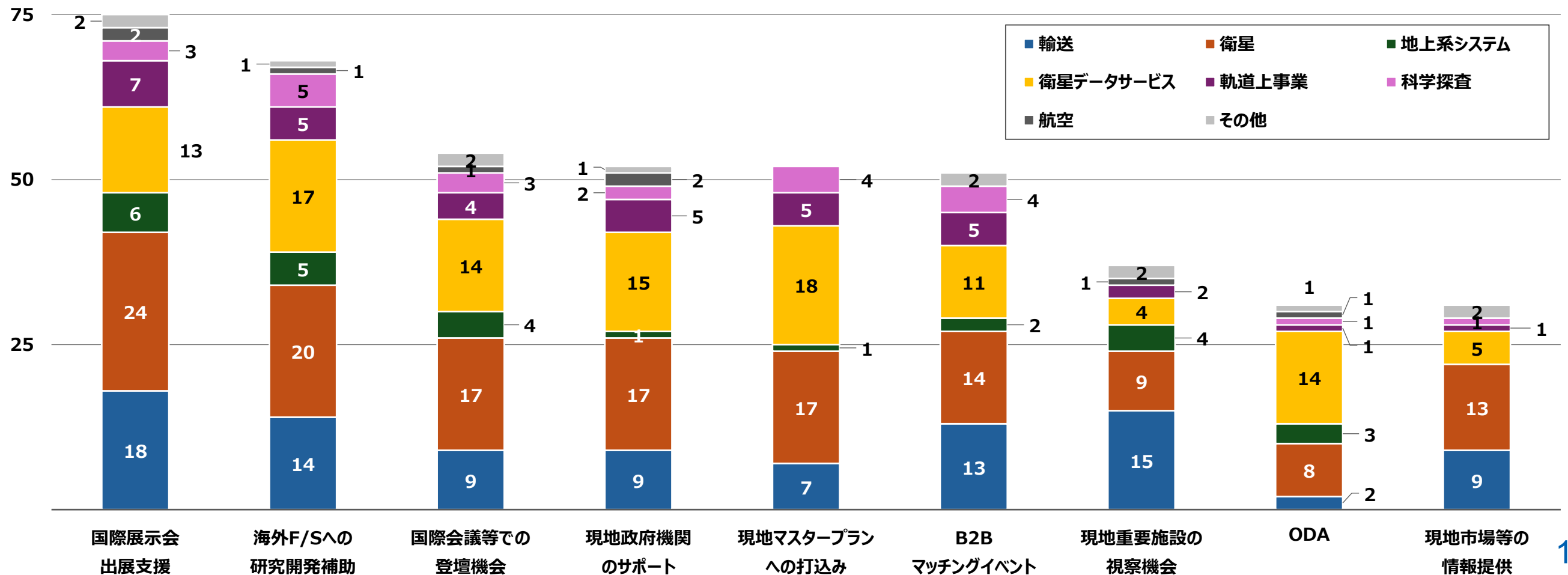
関心のある国

- 事業者が関心のある具体的な国名（複数回答可）としては、以下の通り。
- **上位10位のうち6か国が欧米先進国。上位20位のうち5か国がASEAN。**
このほか、オーストラリア、インド、韓国、台湾、NZ、UAEなどが上位20位にランクイン。



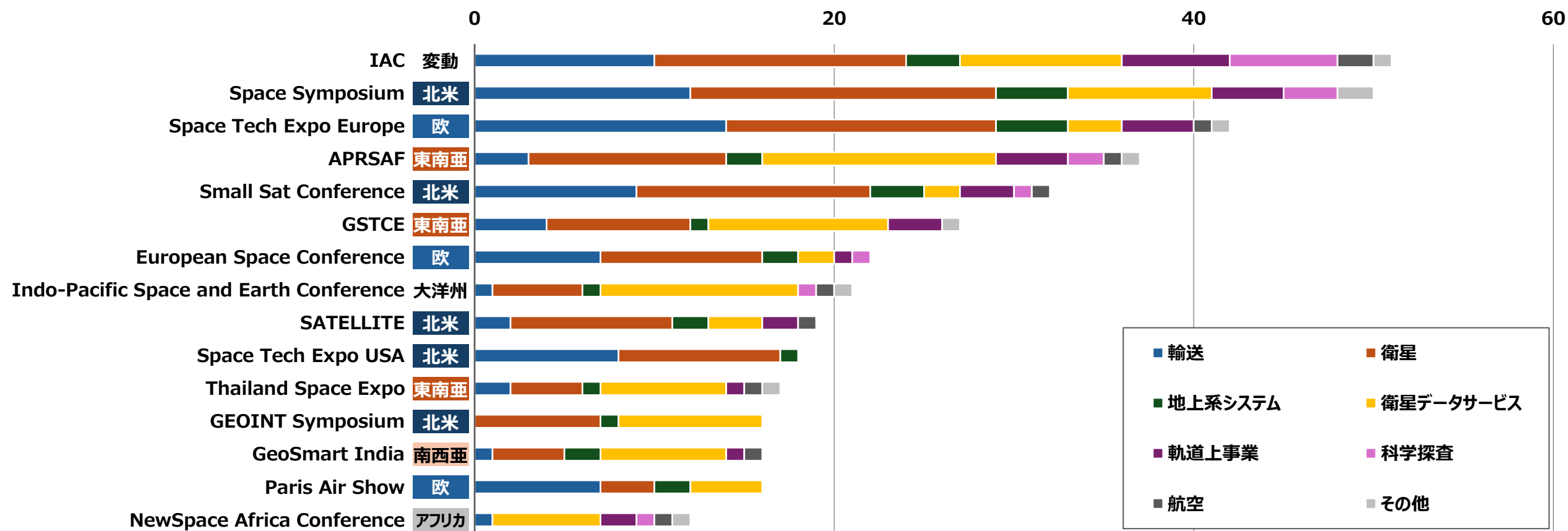
海外展開にあたって政府等へ期待するもの

- 海外展開にあたって政府等へ期待する支援は、国際展示会への出展支援、登壇機会、B2Bマッチングイベントなどの、**海外企業との接点を持つ機会の提供に関する要望が多かった。**
- また、**現地の日本政府機関等（大使館、JETRO、JICA等）のサポートを期待する回答も多かった。**
- 回答事業者の業種によって求める支援内容に大きな違いは見られなかった。



出展・登壇支援を期待する国際会議・展示会

- 政府やJAXAによる活用・支援を求める国際会議・展示会は以下の通りとなった（複数回答可）。
- **欧米圏では、IAC、Space Symposium、Space Tech Expo、Small Sat Conferenceに回答が集中。**
- **アジア圏では、APRSAF、GSTCE、Thailand Space Week、GeoSmart India等が比較的票を集めた。**
- なお、アジア圏の国際会議・展示会と回答した事業者は、他に比べ衛星データ利用ソリューション事業者からの回答が多い点が特徴的だった。



アンケート結果まとめ



- アンケート結果を踏まえた重点エリア・イベントは大まかには以下のとおり。地域性と事業領域を踏まえた活動が必要。
- 表左側：興味がある地域は、1番目3点、2番目2点、3番目1点として集計（最大330点）
 - 表右側：支援を希望する国際会議・展示会は各事業領域別に上位4番目までを表示

	興味のある地域							支援を希望する国際会議・展示会	
	北米	欧州	アジア	大洋州	中東	アフリカ	中南米		
輸送	43	45	40	6	2	2	0	1. STEE 2. Space Symposium	3. IAC 4. SSC
衛星	67	55	48	21	12	1	0	1. Space Symposium 2. STEE	3. IAC 4. SSC
地上系システム	13	11	11	4	0	0	3	1. Space Symposium 2. STEE	3. IAC 4. SSC
衛星データサービス	15	10	57	33	4	14	11	1. APRSAF 2. IPSEC	3. GSTCE 4. IAC
軌道上事業	13	8	14	6	2	3	2	1. IAC 2. APRSAF	3. Space Symposium 4. STEE
科学探査	12	6	7	6	5	0	0	1. IAC 2. Space Symposium	3. APRSAF 4. GLEX
航空	0	0	6	4	0	2	0	1. IAC	
その他	10	10	6	2	1	0	1	1. Space Symposium	

※STEEはSpace Tech Expo Europe、SSCはSmall Sat Conference、IPSECはIndo-Pacific Space and Earth Conferenceの略。また、航空・その他において2番目以降複数のイベントが同率1票となったため、非表示

(1) 2025年度の活動・アンケート結果

(2) **2026年度 活動状況及び計画**

(3) Co-funded事業推進枠組み

- アンケート結果等を踏まえ、以下の(1)～(4)の取組により、**大型案件の受注又は小型案件の大量受注**につなげることを目指す。

(1) マッチング支援・案件組成

対象数 n = 数百社

- ・ 展示会出展支援、BtoBマッチング等、国内外の各種イベントを有効活用。

(2) 海外実証等の加速

n = 数十社

- ・ 基金による実証支援（衛星データ利用システム実装加速化事業等）
- ・ Co-fundによる共同研究開発の促進

(3) トップ外交

n = 数社

- ・ 絞り込まれた重要な大型案件について、両国政府間・宇宙機関間の会合等におけるプレゼンス向上やトップ外交を行う

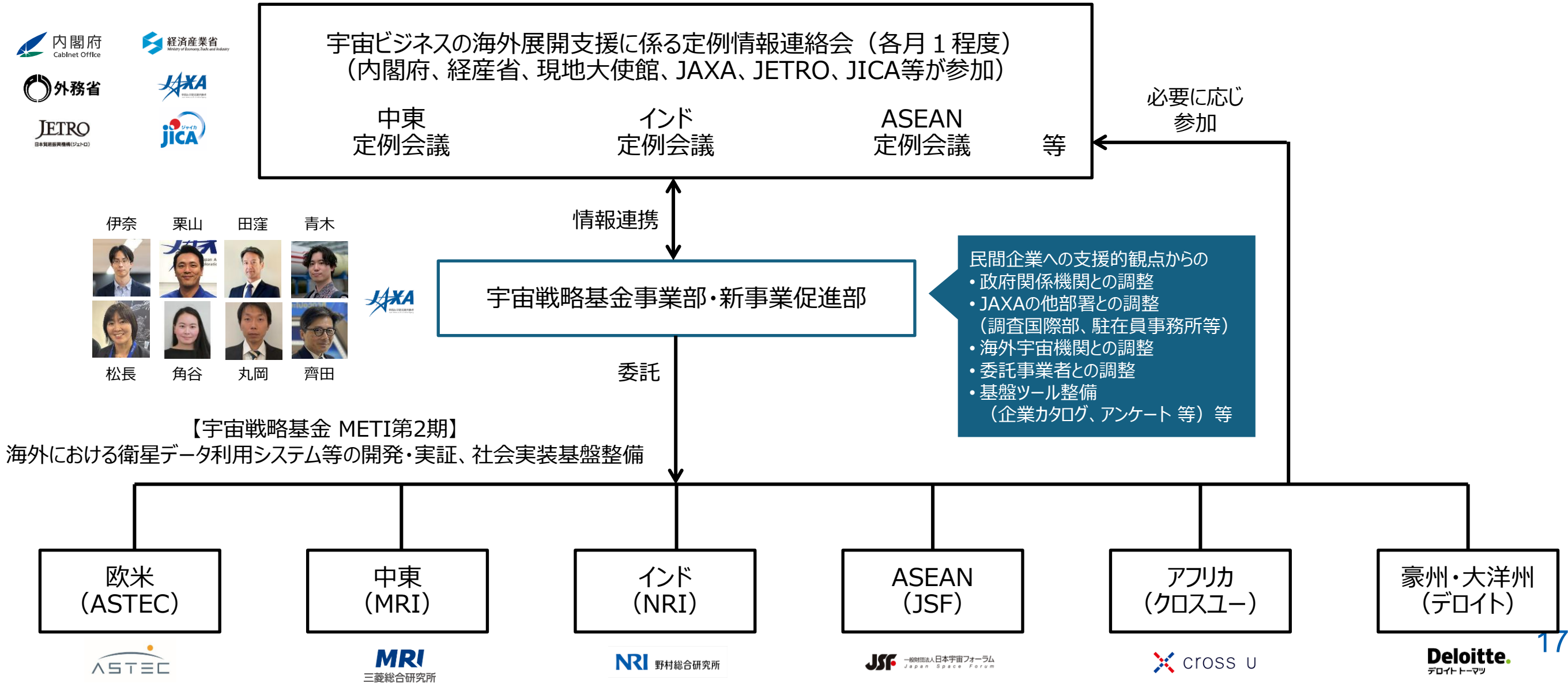
(4) 横断的な取組

- ・ 内閣府、経産省、JAXA、JETRO、JICA、JBICによる日本の宇宙企業の海外展開支援のための年1アンケートや、在外公館等の現地事務所を含む地域別の定期連絡会により、情報の横通しを図る。
- ・ 宇宙戦略基金第二期の海外における社会実装基盤構築にかかる委託事業（6社）と緊密に連携する。
- ・ 日本企業やサプライチェーン情報の英語カタログ、国内の国際カンファレンス情報等、基盤コンテンツを作成・更新。

2026年度の活動体制



- 政府関係機関で情報連携を行いつつ、JAXA宇宙戦略基金事業部の委託先（各地域 計6社）と連携し、世界の各地域向けの支援を実施。



- アンケート結果等を踏まえ、JAXA、前頁の6社の委託事業者等による現時点での活動計画は以下の通り。

- 8月18日 海外における衛星データ利用システム等の開発・実証、社会実装基盤整備事業者等（6社）の支援内容の説明会
- 8月23-26日 Small Satellite Conference@米ソルトレイク → ASTEC・JSSによる展示会出展支援・企業情報の発信
- 9月7-9日 Bengaluru Space Expo 2026@インド → NRIによる展示会出展支援及びB2Bマッチング支援
- 10月5-9日 IAC@トルコ アンタルヤ → JAXAによる展示会出展支援（募集締め切り済み）
- 10月26-29日 APRSAF/Thailand Space Expo@タイ → JAXAによるBtoBマッチング支援、JSFによる展示会出展支援
- 11月17-19日 Space Tech Expo Europe@独ブレーメン → ASTECによる展示会出展支援・企業情報の発信
- 12～1月頃 年1回の企業向けアンケートの実施（ご協力お願いいたします）
- 1月19～21 Abu Dhabi Space Debate@アラブ首長国連邦 → METI、MRIにおいて検討中【TBD】
- 2月25～26 Singapore Space Summit@シンガポール → JSFにて検討中

2027年度の活動計画（現時点では未定）

- 2027年度の活動計画は、12月頃に実施予定の2026年度のアンケート結果も踏まえ検討・確定します。
- 4月12-15日 Space Symposium 2027@米コロラドスプリングス → JAXAによる展示会出展支援
- 5月12-14日 SPEXA@東京ビッグサイト – 宇宙戦略基金事業とのコラボイベントの実施【TBD】



Space Symposium 2026 展示会出展支援

米コロラドスプリングス
4月13-16



SPEXA 2026 宇宙戦略基金事業とのコラボイベント

東京ビッグサイト
5月27-29

海外展開支援策についての新着情報



1. JAXA新事業促進部等における宇宙ビジネスの海外展開支援に関するHP



[リンクはこちら](#)

2. JAXA BIZ メールマガジン 及び X **【オススメ！】**

JAXAや政府関係機関による宇宙産業向けのイベントや公募等に関する情報を随時お知らせしていますので、是非この機会にご登録ください。宇宙戦略基金に関する情報のほか、JAXA新事業促進部における各種施策、上記のHPにアップロードする日本企業の海外展開支援施策、各省の施策など、多くの情報発信を行っています。

[リンクはこちら](#)



JAXA BIZ メルマガ（基金の最新情報を含む）

[リンクはこちら](#)



JAXA BIZ X（基金の最新情報を含む）



産学官が集まり、日本の衛星地球観測分野における総合的な戦略提言をまとめる

【目的】

宇宙基本計画(令和2年6月30日 閣議決定)記載の「衛星開発・実証プラットフォームの構築」に資するため、地球観測衛星の利用者や出資者を含めた産学官が主体となり、社会実装、競争力の強化に向けた地球観測分野の全体戦略等にかかる提言を検討・策定し、衛星開発・実証及びデータ利用に関する共創並びに新規参入の促進に取り組む

PURPOSE

より良い未来を志す産学官が集い、衛星地球観測の力で共に未来を描き、創り出す。

VISION

地球まるごと、より良い未来へ。

イノベーションの創出、産業競争の強化、科学的知見の獲得により、安心安全で持続可能な豊かな社会を実現する。

MISSION

産学官が集い、

- ①衛星地球観測の戦略について幅広く議論し、国へ提言する。
 - ②衛星地球観測の成果を社会に還元し、産学官のエコシステムを形成し、連携を推進する。
 - ③衛星地球観測を推進する機運を醸成するため、その価値を広く社会に発信する。
- ※衛星地球観測に関わる環境とステークホルダーとのつながり

【会員数】 (2026年8月12日現在)

会員種別

- ・ 法人・団体会員： **358**法人・団体
国内企業及び研究機関、学会団体、地方公共団体、行政組織
- ・ 有識者会員： **51**名
国内の大学・研究機関等に雇用される日本人研究者、国内企業に属する個人又は幹事会が認める個人
- ・ オブザーバー省庁： **15**団体
省庁など

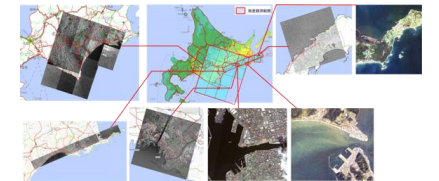


設立当初 2022年9月	2022年度末	2023年度末	2024年度末	2025年度末
法人団体：107 有識者：13 オブザーバー団体：11	法人団体：180 有識者：30 オブザーバー団体：14	法人団体：239 有識者：41 オブザーバー団体：15	法人団体：290 有識者：50 オブザーバー団体：15	法人団体：344 有識者：52 オブザーバー団体：15

【活動内容】

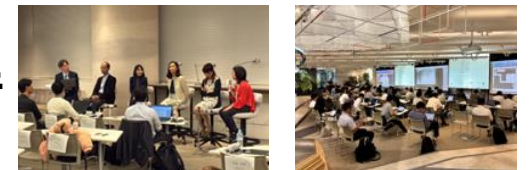
ミッション① 政策提言・連携推進策の議論

衛星地球観測の戦略について幅広く議論し、国へ提言する



ミッション② 連携タスクフォース

衛星地球観測の成果を社会に還元し、産学官のエコシステムを形成し、連携を推進する



ミッション③ アウトリーチ

衛星地球観測を推進する機運を醸成するため、その価値を広く社会に発信する



- 宇宙機関やジェトロ等のパートナー機関との連携により、案件形成のきっかけとなるビジネスイベントやネットワーキング機会を提供する。相手国コンソーシアム等のネットワークを構築し、アソシエーション同志の結びつきを強化。

実施済み

実施予定

日マレーシア宇宙経済共創経済ワークショップ

日時：2026年5月18日（月）及び19日（火）
場所：マレーシア サイバージャヤ
主要テーマ：地球観測衛星（アップストリーム・ダウンストリーム）ビジネス創出
主催：MIGHT、開催パートナー：MYSA、MASIC、JAXA、CONSEO



日カンボジア宇宙経済共創シンポジウム

日時：2026年9月28日（月）及び29日（火）
場所：カンボジア プノンペン
主要テーマ：グリーンエコノミーと衛星データアプリケーション
主催：JSF（宇宙戦略基金事業）
共催：JETRO、JAXA 協力：CONSEO



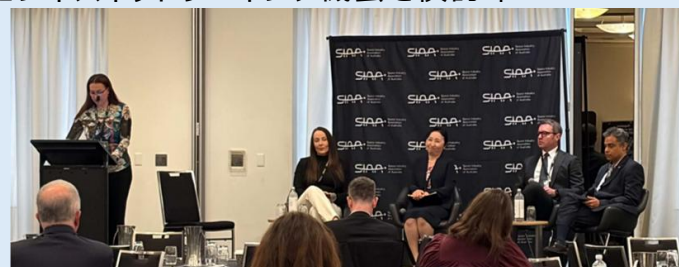
Japan and Europe – Working together to create new satellite-driven markets for smart cities

日時：2026年9月24日（木）
場所：オンライン開催（言語：英語）
主要テーマ：日欧連携によるスマートシティ分野の事業創出
主催：ESA、JAXA、CONSEO



日豪連携

- Space Industry Association of Australia（SIAA）、Australian Space Agency（ASA）等との間で、連携推進のための環境整備について協議中。
- **Nihonbashi Space Week（2026年12月）** 期間中での日豪ビジネスネットワーキング機会を検討中



勉強会

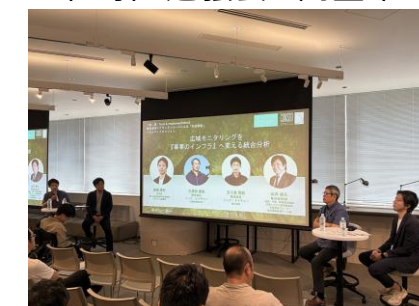
◆インフラDX勉強会

日時：2026年9月10日（木）
場所：ハイブリッド開催
（会場：X-NIHONBASHI Tower）
主催：CONSEO、JAXA



◆ネイチャーポジティブシリーズ（第1弾・勉強会）

日時：2026年6月12日（金）
主催：CONSEO
共催：株式会社シンク・ネイチャー
※第2弾・勉強会を調整中



(参考) CONSEOのすすめ

CONSEO 活用の仕方！

STEP1 : CONSEOの歩き方やYouTubeで活動を覗いてみよう！



CONSEOの歩き方



YouTube

STEP2 : 衛星地球観測の利用について詳しく学んでみよう！



CONSEOレポート

STEP3 : CONSEOでの議論や方針をのぞいてみよう！



第5回 CONSEO 総会



CONSEO の議論の進め方



提言



CONSEO提言

CONSEO 参加の仕方！

STEP1 : まずは会員登録してみよう！

STEP1 : 規約、留意事項を確認



STEP2 : 入会フォームに必要事項を記入



STEP3 : 事務局からの受付メールを確認する



STEP4 : 入会手続き完了

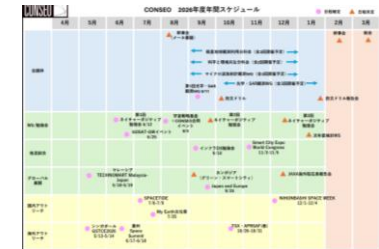


会員登録はこちらから👉

STEP2 : 参加したいイベントの情報・日程を確認しよう！



Xアカウント



年間スケジュール

STEP3 : イベントの参加登録をしよう！

STEP1 : CONSEO Web サイトからイベント
会員向けページを確認



STEP2 : 参加登録フォームに必要事項を記入



STEP3 : 参加登録手続き完了



会員ページ



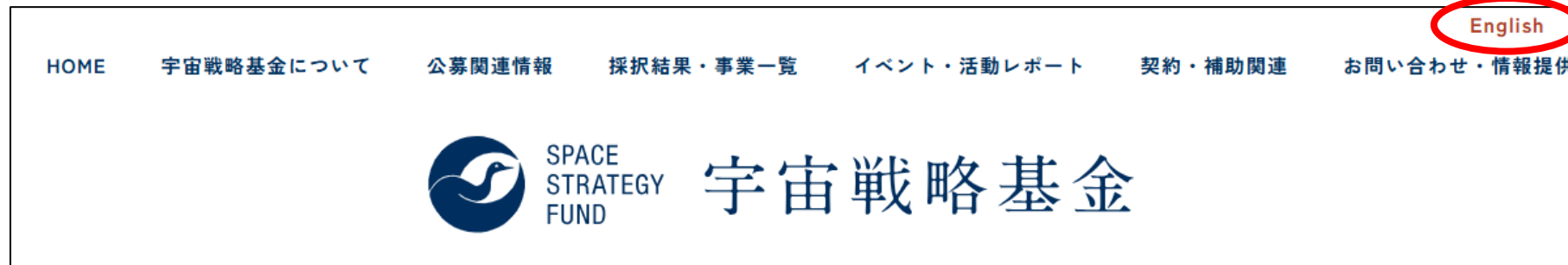
一般ページ

(参考) 宇宙戦略基金に関する海外への情報発信

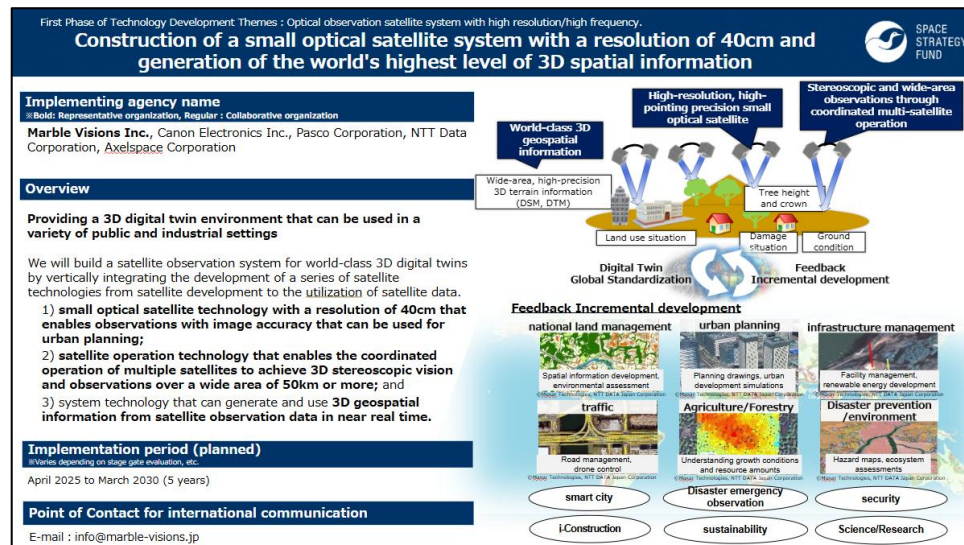


- 次項以降に示す「Co-funded事業推進枠組み」と合わせ、宇宙戦略基金についても海外に積極的に情報発信中。

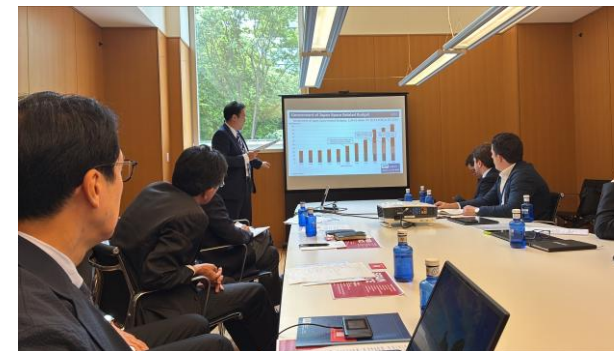
■ 常時、基金に関する最新の英語資料をアップロード



■ 各事業の概要ペーパー（PRシート）を英語で発信



■ 各国に対しても随時説明を行い日本企業との連携を呼びかけ



(参考) 日本の宇宙企業の情報がわかる英語カタログ



- JAXAが支援している日本の宇宙企業を紹介するJapanese Space Industry Catalog "JSIC"を、2025年8月から新事業促進部ウェブサイト上で一般公開開始。また、同サイトから出力される冊子を海外イベント等において配布している。

JSICページレイアウト

 Hibiki Seiki Co., Ltd. Business Domain: Rocket Components Satellite Components On Orbit Service Orbital Platform Science Exploration Aviation Other Company Profile - Founded in 1967, Hibiki Seiki is a precision machining company in Shimonoseki - JISQ9100 certified, specializing in aerospace parts - From prototyping to mass production of space components Core Business - High-precision machining of aerospace components using 5-axis and multi-tasking machines - Thin-wall precision machining for lightweight aerospace structures - Support for development and machining of difficult-to-cut materials like titanium and Inconel Potential Collaboration Areas - High-precision machining services for satellite and launch vehicle components - Precision machining of pumps and combustors for space propulsion systems - Manufacturing support for small-lot, high-mix aerospace components - Collaboration on R&D involving advanced materials and complex geometries Core Competence - Expertise in precision machining with tolerances within a few microns - Extensive experience with difficult-to-machine materials like Inconel and titanium - Certified under JISQ9100, ensuring high quality for aerospace and space applications - Flexible production system supporting both prototyping and small-lot manufacturing	 Kawasaki Heavy Industries, Ltd. Business Domain: Rocket Components On Orbit Service Exploration Aviation Other Company Profile - Participating in space development since the 1980s - Providing a wide range of components for rockets, spacecraft, and manned facilities - Strong expertise in large structures, ECLSS, and mechatronics Core Business - Payload fairing for launch vehicle - Small satellite - Development of various components Potential Collaboration Areas - SimplePAF (Satellite separation system for small satellite) Core Competence - Low shock and ITAR free
---	---

配布状況等



ウェブサイトへの
アクセスはQRから
[リンクはこちら](#)



掲載に関する問い合わせ先

global-industry@ml.jaxa.jp

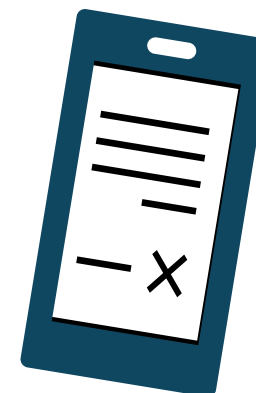
(注) 掲載企業は、宇宙戦略基金、JAXAベンチャー等、JAXAが何らかの支援をしている法人に限ります。詳細はウェブサイトに記載しているサイトポリシーをご覧ください。

(参考) 日本の衛星部品・コンポーネント 英語カタログ



- 日本の衛星部品コンポを紹介するJapanese Satellite Component Catalog “JSCC”を、2025年8月に作成し、海外の展示会等で情報発信を行っている。
- 継続的にアップデート中であり、今後、部品コンポの分類の精緻化、掲載企業数増、スペックの掲載などを検討中。

Japanese Satellite Component Catalog			Supplier	ADDNICS Corp.	Alouette Technology	ArkEdge Space Inc.	ArumoTech Corp.	Astrex	Composite Tailors Co., Ltd.	cosmobloom Inc.	EAGLE INDUSTRY CO., LTD.	GENE
Products			Subsystem	Component								
<Bus>												
Power	Power Generation	Solar Cells										
		Solar Panels & Arrays										
	Energy Storage	Batteries						○		□		
	Power Management and Distribution	Power Conditioning & Distribution Unit (PCDU)						○				
Command and Data Handling (C&DH)	Onboard Computer (OBC)	OBC Module										
		Processing & Memory Unit										
		Interface & Power Board										
	Communications Interfaces	Flight Software										
	Memory / Data Recorder											
Attitude and Orbit Control	Integrated Units				○							
	Sensors	Sun Sensors										
		Magnetometers										
		Earth Sensors										
		Star Trackers										
		Gyroscope / Inertial Measurement Unit (IMU)										
		GPS Receivers										
	Actuators	Magnetic Torquers										
		Reaction Wheels										
		Control Momentum Gyroscopes										
Drive/Control Electronics												



部品コンポ×製造企業のマトリクスから、**企業サイトへ直接アクセス可能**

ウェブサイトへのアクセスはこちらから



掲載に関する問い合わせ先

global-industry@ml.jaxa.jp

- (1) 2025年度の活動・アンケート結果
- (2) 2026年度 活動状況及び計画
- (3) **Co-funded事業推進枠組み**

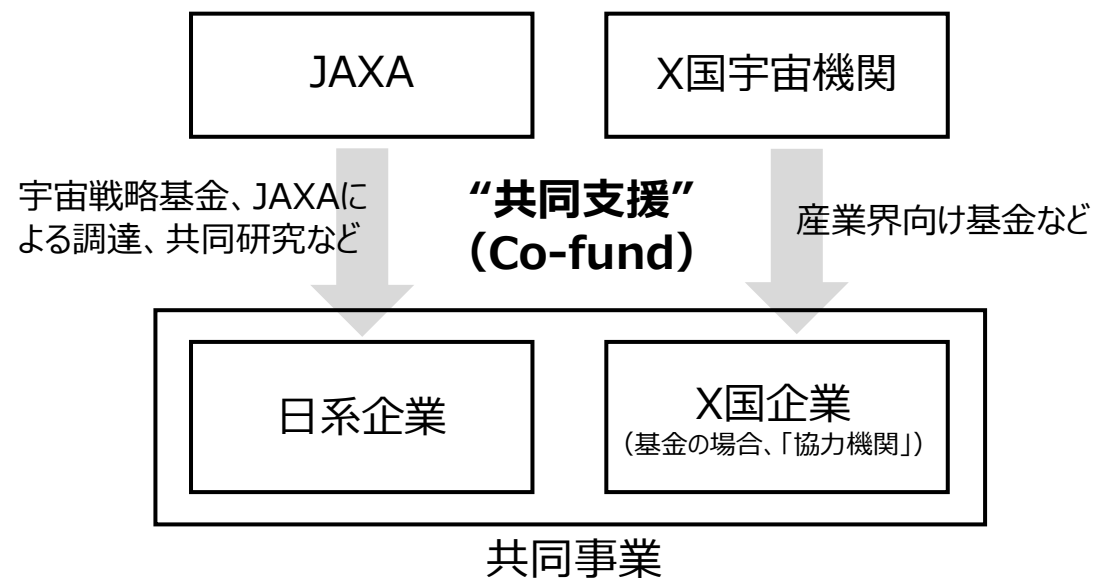
Co-funded事業推進枠組み（CBPF）の概要

- JAXAは、両国企業による国際市場獲得を目指した共同事業※に対し、両国の宇宙機関が、資金支援（委託、補助金等）、技術支援、共同研究等を通じて、自国の企業の活動に対して支援すること（以下、「Co-fund」）を促進するために、「Co-funded事業推進枠組み」を2025年9月に公表。

※Co-fundの対象（共同事業）は、国際市場の獲得を目指した技術・製品・サービスの両国企業共同での研究、開発、実証又は利用開拓の事業。（単なる調達の対象外。）

- **宇宙戦略基金を呼び水とした両国企業の協業促進や相手国の資金・市場の獲得等を狙いとし、宇宙機関間の信頼関係に基づく企業情報の共有及び審査・評価への活用等を行う。**今後、優先順位やリソースを踏まえつつ、本枠組みに基づく海外宇宙機関との連携を模索する。

■ 「Co-funded事業」のイメージ



■ Co-funded事業推進枠組み文書

- ・ 各国宇宙機関とレター交換等により合意することを想定した文書



日本語



英語

- 本枠組みのもと両国宇宙機関は以下の連携活動に取り組む。

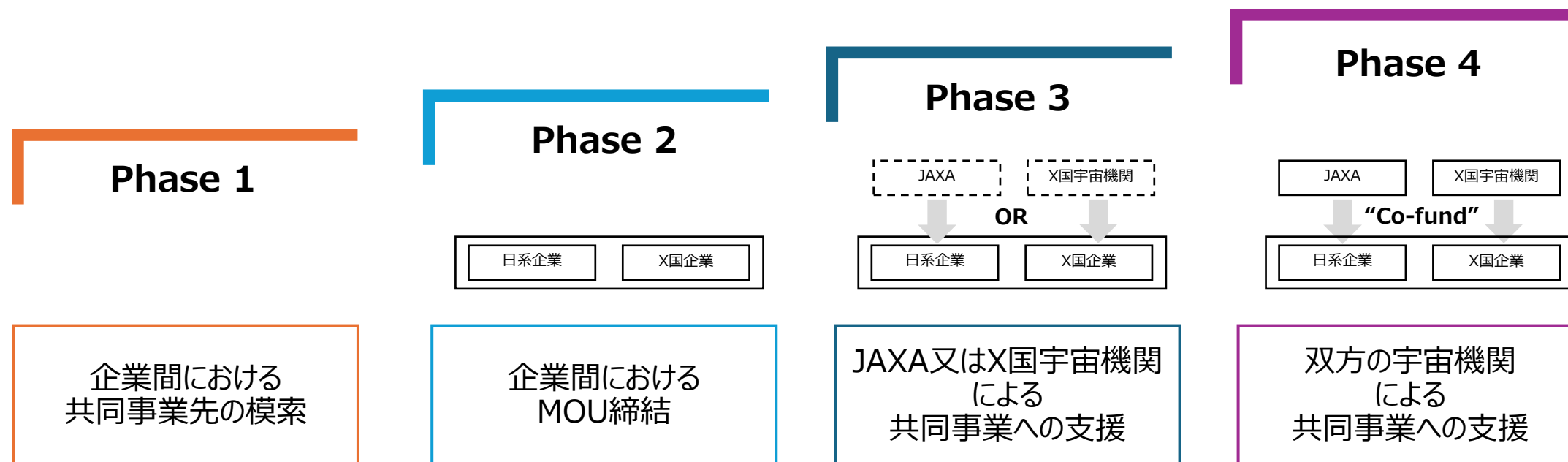
- 宇宙機関間で本枠組み文書に基づく活動に合意
- 両国宇宙機関で**B2Bマッチング機会を提供**

<Phase1→Phase2の促進>

- 基金での採択済み事業や企業間の共同事業等<Phase2,3,4相当>の**企業情報を宇宙機関同士で共有**
- 両国宇宙機関において得られた情報を一部事業で**審査・評価等に活用**し望ましい場合はフェーズアップ

<Phase2→Phase3、Phase 3→4の促進>

- 全事業でPhase4を目指すわけではなく**両国宇宙機関が自律的に判断できる柔軟な枠組みを志向**

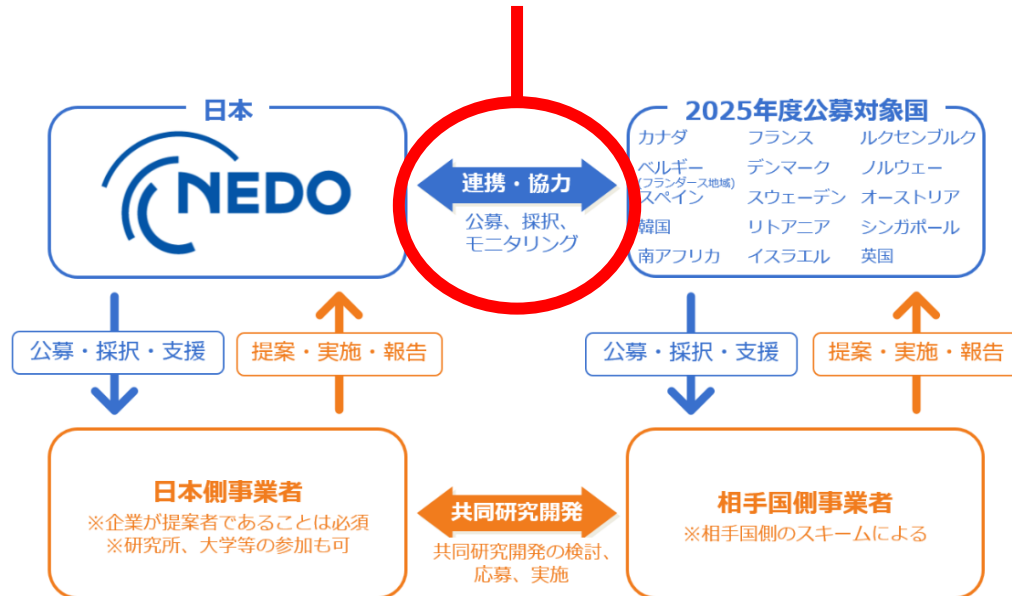


(参考) CBPFにおけるCo-fundと他の取組におけるCo-fundの違い

- 例えばNEDOがディープテック・スタートアップ支援基金で取り組んでいるCo-fundでは、相手国と同時に公募・採択を行う枠組みとなっていることから、お互いの国が事業の選定を自律的に行うことができない。
- 一方、CBPFにおいては、同時公募・採択は行わずPhase3という片方の国しか支援をしていない状況を許容している点が特徴的。全事業でPhase4を目指すわけではなく両国宇宙機関が支援の要否を自律的に判断できる柔軟な枠組みとなっている。ただし、柔軟である代わりに、相手国に対する拘束力は低く、信頼関係の中での情報交換に基づく両国の自律的な判断に委ねることとなる点には留意が必要。

■ NEDOにおけるCo-fundの特徴

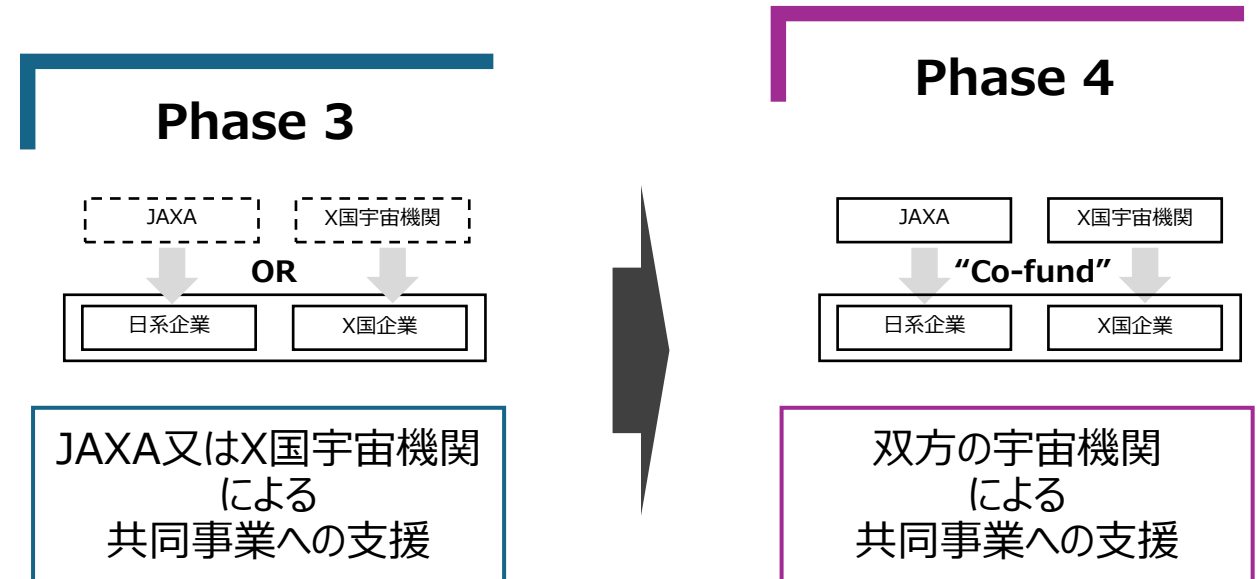
- 相手国と同時に公募・採択を行う枠組みとなっている



【Eureka Globalstars】（多国間共同公募方式）

■ CBPFにおけるCo-fundの特徴

- Phase3という片方の国しか支援をしていない状況を許容している点が特徴



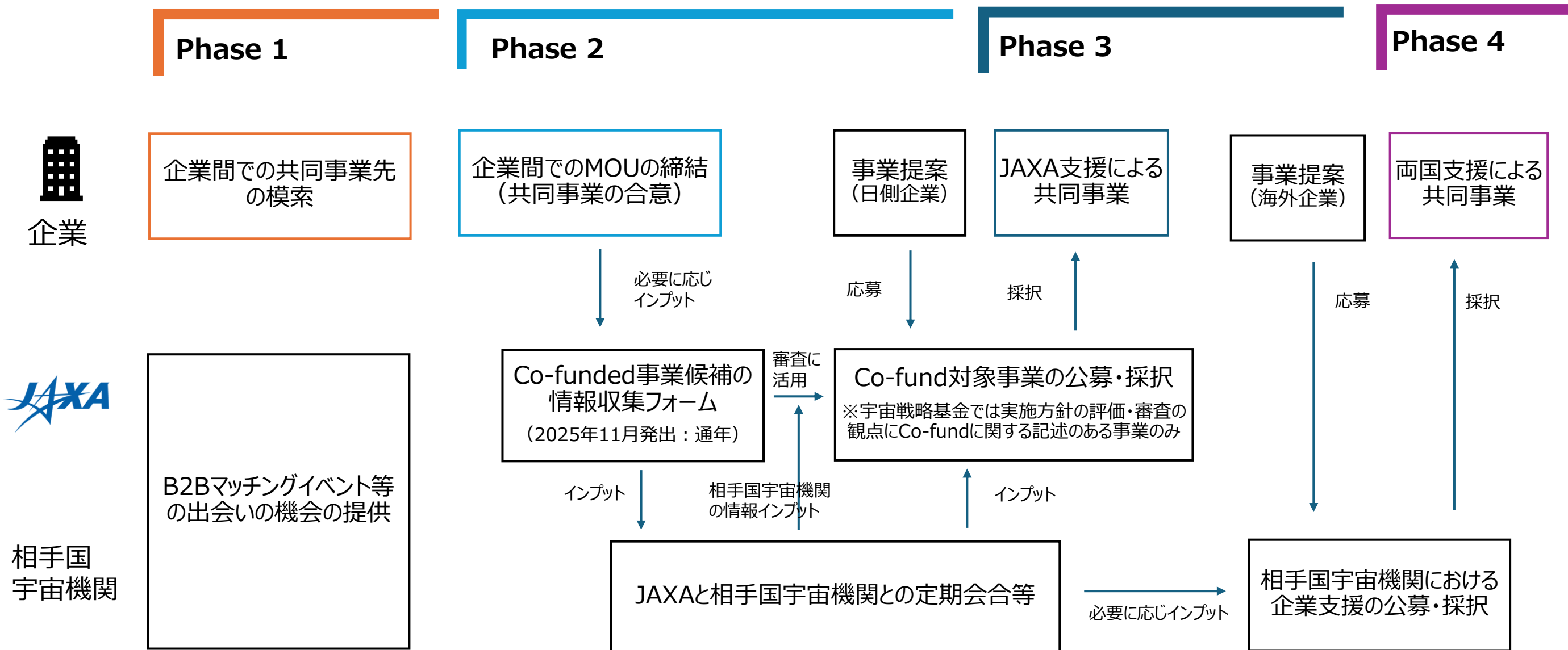
- 宇宙戦略基金の支援対象（研究代表機関、連携機関）は「国内に研究開発拠点を有し、日本の法律に基づく法人格を有している民間企業、大学、国立研究開発法人等で、代表機関の研究代表者及び連携機関の研究分担者は日本の居住者であること」が必要。
- このため、CBPFにおいて日本企業との連携事業を実施する海外企業は、「協力機関（PO）」として参加することを想定。
- 協力機関は基金からの資金支援を受けられないため、必要に応じて、自国の宇宙機関からの支援を受ける。

■ 宇宙戦略基金の参加機関の分類

	Receive Subsidy (基金の受領)	Conduct R&D (研究開発行為)	Japanese Legal Status (日本法人要件)
Research Representative Organization (RRO) (研究代表機関)	Receive directly from JAXA (JAXAから直接交付)	Yes (行う)	Required (必要)
Collaborative Organization (CO) (連携機関)	Receive through RRO (研究代表機関から受託)	Yes (行う)	Required (必要)
Partner Organization (PO) (協力機関)	No (受領しない)	Yes, but not funded by SSF (行うが、基金からの資金支援なし)	Not Required (不要)
Supplier (外注先)	Receive contracted amount from RRO or CO (外注費として受領)	No (RRO cannot outsource R&D) (行わない。基金では、研究開発の外注は不可。)	Not Required (不要)

(参考) 個別の共同事業がPhase4に至る想定フロー

- 以下は、日本側の支援が先行するパターンにおける想定フローとなっている。相手国側の支援が先行する場合もある。



- CBPFに基づく連携に合意済みの宇宙機関は以下の通り。



英国宇宙庁(UKSA)
2025年10月24日合意



フランス国立宇宙研究センター (CNES)
2026年4月2日合意



シンガポール国家宇宙庁 (NSAS)
2026年7月6日合意

- 海外とのCo-fundを目指す日本企業の皆様におかれては、**既にMOU等を締結している（Phase2以上の）海外企業等との連携状況に関する常設アンケート（Co-funded事業候補の情報収集フォーム）**にご協力ください。
- **海外宇宙機関との定期会合等での情報共有に活用するほか、必要に応じ事業の審査・評価等に活用します。**特に枠組みに合意している宇宙機関との連携事例については積極的にお寄せください。

■お寄せいただく情報：

- ・ 共同事業を行っている海外の連携企業・機関名
- ・ 連携企業の国籍
- ・ 共同事業内容(対象案件名/プロジェクト名、実施期間等)
- ・ 支援を受けている機関等
- ・ 共同事業の公開状況 等

Co-funded 事業候補の情報収集フォーム (通年実施)



Q：Co-Fundの対象国は？

A：現時点では[前掲の宇宙機関](#)のみと合意に至っております。以下の観点を踏まえ、JAXA はCBPFに基づく協力を行う国・地域を模索し、必要に応じて関係政府機関とも協議の上、順次拡大していくところです。

- 日本国企業としての相手国企業への連携の期待
- 日本と相手国の宇宙機関におけるこれまでの協力実績
- 相手国における宇宙機関が主体となる支援事業の規模及び内容
- 相手国の官民における日本との連携への期待
- Co-fund に要する人員リソース

なお、JAXAがCBPFに基づく取組について合意に至っていない国であっても、宇宙戦略基金事業の審査・評価に当たっては、相手国宇宙機関から既に支援を得ている（Phase3である）事業であることが否かが、審査・評価の観点に含まれている場合があります。

Q：アンケートで記載していない企業連携は、宇宙戦略基金での積極評価にはならないのでしょうか？

A：宇宙戦略基金第2期以降では、提案様式の中で海外企業との連携状況について記載いただくこととしており、アンケートで未回答の企業連携であっても審査の際に考慮できます。ただし、アンケートが未回答の場合、アンケートを基にした相手国宇宙機関との情報共有ができないため、相手国側の公募事業での審査において、JAXAからの適切な情報インプットができない可能性があります。

Q：連携している相手国側の団体は企業でないといけませんか？

A：グローバルビジネスを目指しているなら企業でなくても構いません。

Q：Co-Fund案件は審査時にどの程度優遇されますか？

A：審査・採択の一要素として総合的に考慮するため、定量的なご回答はできません。